



水野 七穂
豊岡南小学校 2年



大好きな96さいのばあば



市長賞受賞者のコメント

わたしの大好きなひいばあばの絵をかきました。96さいで、いつもニコニコしていておこっているのを見たことはありません。ひいばあばの好きな食べものは、メロンとすいかとおすしです。おにわでは、月下美人をそだてています。

明るくてやさしいせいにかくがったわるように、まわりをきれいな色でぬるのをくふうしました、いつまでも元気で明るくすごしてほしいです。

講評

96歳になるショートカットのひいばあばの笑顔は、やさしさに溢れています。また、水玉の服と背景の水玉模様とがリンクして、若々しさとかわいらしさを感じさせます。

七穂さんの作品は、ひいばあばの大切なものを周りに配置し、「いつまでも元気でいてね。」という思いがこもっています。背景をぼかして、伝えたいことにピントを合わせた表現は、七穂さんの思いやりの気持ち心が心地よく伝わり、見る人を温かな気持ちにさせてくれます。

(浜松市秋野不矩美術館長

鈴木 英司)

令和4年度磐田市芸術祭を終えて



磐田市文化協会 会長

桂みさを

磐田市文化協会の芸術祭は、展示部門と舞台部門が一丸となって開催しました。市民の皆様が会場へ足を運んでくださったお陰で、盛況なうちに終了することが出来ました。

これも各部門の委員をはじめ会員の皆様の多大なご理解とご協力のお陰と感謝しています。展示部門では、市民の皆様からの応募作品に加え、高校生のお誘いも多く、鑑賞する人の心を潤している様子を目の当たりにすることができました。尚、舞台部門は、7月30日に開館しました市民文化会館「かたりあ」で、28団体の参加により行われ、多くの入場者により盛り上がりました。芸術祭と銘打つ以上は会員同士

が、切磋琢磨し合い高みを目指し続ける事だと思います。芸術は、人間が人間らしく生きていく上で不可欠な「文化」という中に存在するものです。表現者と鑑賞者の双方がいることにより切磋琢磨しようとする意識が高まり相乗効果が生じ、やがて情緒力が加味され生活文化への向上につながっていくのではないのでしょうか。

会員同士だけで満足しているのではなく、外へも鑑賞する意識をもち、養い、また次代を担う若い人たちの思いを表現する機会を大切にし、より多くの市民の皆様が鑑賞し、感動を分かち合える環境をつくっていく大切さを痛感しています。



磐田市市長
草地博昭

令和4年度の芸術祭は、約500点の作品が出品され、延べ6,400人余の方が来場されるなど、昨年に比べ出品数、来場者ともに大幅に増加しました。

また、舞台部門が新たに開館した「かたりあ」で行われるなど、コロナ禍による様々な制約の中にあっても、日々の創作・稽古に励んでこられた会員の皆様の成果が存分に発揮され、大変盛況であったことをうれしく感じています。

開催にご尽力いただいた磐田市文化協会の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

各会場で展示・舞台等を鑑賞し、表彰式にも出席しましたが、文化芸術活動を通して、相互の交流を深め、温もりと豊かさを実感できる機会を創出することの大切さを改めて感じました。今回の芸術祭での、かけがえのない体験や繋がりが、市民の皆様々の未来へ向けたエネルギーとなることを願っています。

文化とは、多様な価値観に触れ、他者との違いを感じ、受け入れていくことで、心を大らかにし、平和で穏やかな社会を作っていくための、心の栄養分だと思っています。今後、市民の皆様が文化芸術を創造・鑑賞・体験する機会の充実に取り組んで参りますので、次の世代へつなぐ文化芸術の種をともに育てていきましょう。

公募部門発表

原田 緑

一か月半に渡り、中央図書館で全部門の発表をしました。「かたりあ」の落成により、本市の文化活動が新たに踏み出した年に、公募部門では俳句・書・絵画等々、高校生の作品が一般の応募者と肩を並べ、瑞々しい若さが融合した芸術祭になりました。また、感染対策をして大勢の方が来場してくださり、このような時こそ、文化が求められることを感じました。日頃の文化活動を支える場として展示ギャラリーがあれぱという思いを強くしました。



令和4年度磐田市芸術祭

部門別受賞者名

俳句の部

短歌の部

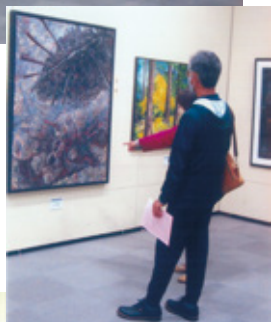
書の部

絵画の部

写真の部

工芸の部

市長賞 鈴木 剛一	市長賞 鈴木 たる	市長賞 藤井 笙蘭	市長賞 小山 幸一	市長賞 大中 誠治	市長賞 西 史郎
会長賞 田中 明子	会長賞 鈴木 朋子	会長賞 磯部 敏子	会長賞 亀沢 豊	会長賞 田嶋 恒夫	特選 鈴木 博
教育長賞 鈴木 佑奈	教育長賞 鈴木 智子	教育長賞 後藤 彩鵬	教育長賞 仲川 勝彦	教育長賞 佐藤 舞姫	特選 内山あさ子
特選 大村 泰子	特選 永島 淑子	特選 大場 明子	特選 柴田 好美	特選 後藤順一郎	奨励賞 安藤コズエ
特選 鈴木登志子	特選 鈴木 和枝	特選 熊切 純暇	特選 宮地 春洋	特選 田中 恒夫	奨励賞 大須賀早苗
特選 富田 育子	特選 杉山 俊人	特選 大杉 弘海	特選 坂上 博香	特選 鈴木 好郎	奨励賞 沢 明美
特選 村上 優子	特選 宮本 晴代	特選 村松 弘華	特選 石野 幸子	奨励賞 坂口 明夫	
特選 弓桁 和泉	奨励賞 海山 綾子	奨励賞 高橋 愛子	奨励賞 西 史郎	奨励賞 宮村 博明	
特選 平岡 祥多	奨励賞 藤田 悦子	奨励賞 梶田 綾水	奨励賞 西脇 靖子	奨励賞 稲垣 久雄	
特選 小岩 弦流	奨励賞 杉村はるみ	奨励賞 宮本 理名	奨励賞 野澤 靖子	奨励賞 金森よし子	
特選 小杉 透也	奨励賞 佐藤 洋子	奨励賞 増田 貴子	奨励賞 中村 忠志	奨励賞 稲垣 正子	
奨励賞 松山記代美	奨励賞 大島健太郎	奨励賞 柿原ななみ	奨励賞 鈴木 佑奈	奨励賞 田中 泉祐	
奨励賞 塩野 昌治		奨励賞 増田 貴子	奨励賞 井浪 利子		
奨励賞 弓場 忠義		奨励賞 金子 莉鵬			
奨励賞 浅井 勝子		奨励賞 美月 寺田			
奨励賞 阿部芙美子					
奨励賞 村上 修					
奨励賞 青木いく代					
奨励賞 兵藤 恵					
奨励賞 佐柳 亮太					
奨励賞 小澤 早希					
奨励賞 鈴木 琉斗					
奨励賞 川久保 樹					
奨励賞 山田 彩乃					
奨励賞 鈴木 彩乃					
奨励賞 佐川 水輝					
奨励賞 村井 友哉					



絵画の部 市長賞

小山 幸一

この度は、思いがけず市長賞をいただき
光栄に存じます。

私は、五年ほど前から、「進行性核上性麻痺」という難病になり、歩行等が困難になっています。その為、絵の題材を自由に探せなくなりしました。病気になる前に参加していたクラブ活動等の資料や、新聞雑誌等の資料から、題材を選び描いております。受賞作「川遊び」もそのうちの一点です。すばやい生き生きとしたタッチの絵を目指して描きました。

この賞を励みとして、これからも体調の許す限り、絵を描いていきたいと思っております。



川遊び

写真の部 市長賞

大中 誠治



一富士二鷹

この度は市長賞という栄
誉ある賞をい
ただき大変有
難うございま
す。

定年退職後
会社の先輩に
誘われ、冬の
富士山の撮影
に行ったのが
きっかけで風
景や花などの写真を撮っていました。その方
が野鳥の撮影をされており、私もその魅力に
すっかりはまってしまいました。

この写真は、御前崎でハヤブサがヒヨドリの群れを狙って出沒する情報を得て、富士山を背景にこのハヤブサを撮りたいと2ヶ月間通いました。寒風に耐えながら、この一瞬に必死でシャッターを切りました。これからも、楽しみながら写真を続けていきたいと思
います。

工芸の部 市長賞

西 史郎

定年退職後、余生の趣味の一つとして陶芸を始め、毎年磐田市芸術祭に出品して、一年間の活動の節目にしています。市長賞は思いもよらず古希の素敵な贈り物となりました。今後の作陶の大きな励みとなり、嬉しく思います。

作品は「伊賀の耳付壺」をヒントにし、古設
楽粘土で造形しました。耳は少し華やかにし
胴は縄目で締めた装飾をしました。赤松を炊
く穴窯で緋色と灰の自然釉が壺に自然の趣
を添えてくれました。

これからも陶芸の楽しみと、芸術祭での交
流をし活動を深めたいと思っております。



耳付大壺

舞台部門発表

●とき 令和4年10月16日(日)
●会場 磐田市民文化会館かたりあ

星野 雅子

本年度の舞台部門は、待ちに待った新しい市民文化会館「かたりあ」での公演となり、28団体、400名を超える出演者が繰り広げる、盛大かつ華やかなイベントになりました。

邦楽、洋楽、舞踊、伝統芸能など、さまざまな参加団体が大きな舞台で表現した渾身のパフォーマンスに、900名を超える入場者からの大きな拍手が寄せられました。「かたりあ」のスタートと共に、芸術祭舞台部門の新たな歴史が始まったのだと、感慨深く思います。



いけばな展

●展示期間 令和4年11月11日(金)～13日(日)
●会場 磐田市立中央図書館

鈴木 文恵

文化協会所属8流派、市内の高校3校、小学生2名にて45作品を展示しました。草木花が織りなす自然の力強さ・やさしきで会場は静かな、そして華やかな癒しの空間となりました。会場が中央図書館ということで、思いがけなく立ち寄り楽しんでくださった方々も多くありました。

伝統的な型から現代的な型まで様々ですが、花を愛でる気持ちには伝わったと思います。



磐田菊花展

●展示期間 令和4年11月3日(木)～6日(日)
●会場 磐田市立中央図書館

藤原 健

今年も天候不順により、夏枯れたり、成長不足で開花が遅れたりして大会に間に合わず、出品を見合わせた人もありました。会員全員の努力でカバーし、何とか140点が集まりました。96歳と94歳の磐田菊花会OBの協力で会場を彩り、盛り上げてくれました。中央図書館という立地条件と天候にも恵まれ574名の入場者がありました。多くの方々には満足していただき会員一同ほっとしたところです。



磐田市 ジュニアアート展

●展示期間 令和4年11月12日(土)～20日(日)
●会場 豊田福祉センター

大村 重雄

ジュニアアート展は第11回を迎えました。本年度も市内の全小学校より、1,236点の応募をいただき、その中から入賞の201点を展示しました。

会場の豊田福祉センターには、多くの皆さんにお越しいただき感謝いたします。ご家族で、絵について語り合ったり記念写真を撮ったりする姿が見られました。

これからも子どもたちの創作活動を応援していきたいと思えます。





青空へ舞い上がれ!!シャボン玉!!

昔から、夏になるとしゃぼん玉をしてよく遊んでいます。この夏休みも、妹と家の前でしゃぼん玉をして遊んでいました。その時に、「この景色を絵に描きたいなあ。」と思ったので描きました。しゃぼん玉をして遊ぶといつも心はずみます。

私は、光に当たって光っているしゃぼん玉が一番好きです。そんな、光輝くしゃぼん玉をイメージしながら描きました。



田原小学校6年
濱田 彩莉



シジュウカラの育ち

僕は、鳥の巣箱を父と作りました。庭に置くとシジュウカラという鳥が住み着いてくれて



富士見小学校4年
田畑 拓瑞



わくわくしました。鉛筆削りのかすと綿でふかふかそうな巣を表現しました。

ひな鳥は黄色いほつぺをしていて、2週間で親鳥ぐらいにぷくぷくに育っていました。

巣立ちから静かになった庭にまた大きくなつて、帰ってきてほしいという気持ちで描きました。

第11回ジュニアアート展受賞者名

賞	学校名	学 年	氏 名
市長賞	豊岡南小	2年	水野 七穂
文化協会会長賞	田原小	6年	濱田 彩莉
教育長賞	富士見小	4年	田畑 拓瑞

特 選	磐田北小	1年	前嶋 恭暁
特 選	磐田中部小	1年	鵜飼 穂華
特 選	磐田南小	1年	草地亮之介
特 選	青城小	1年	河合 希紘
特 選	豊田東小	1年	染井 奏海
特 選	東部小	2年	竹下 結
特 選	大藤小	2年	鈴木 朔
特 選	田原小	2年	大沢 心菜
特 選	豊田東小	2年	鈴木 志旺
特 選	豊岡南小	2年	梅林 奈央
特 選	磐田北小	3年	井伊 律葵
特 選	東部小	3年	永田りん子
特 選	長野小	3年	竹内 一心

賞	学校名	学 年	氏 名
特 選	富士見小	3年	朝比奈佐弥
特 選	豊岡北小	3年	高田 海翔
特 選	磐田西小	4年	中沼 駿太
特 選	磐田南小	4年	鈴木 想世
特 選	竜洋東小	4年	斉藤妃麻里
特 選	竜洋北小	4年	大庭 銀二
特 選	豊岡北小	4年	尾崎 舞咲
特 選	磐田西小	5年	高橋 美波
特 選	磐田南小	5年	太田かのん
特 選	竜洋北小	5年	須藤 立暉
特 選	豊岡南小	5年	鈴木望真稟
特 選	豊岡北小	5年	與五澤 葵
特 選	東部小	6年	田村 綾那
特 選	大藤小	6年	廣岡 琉香
特 選	竜洋北小	6年	林 千種
特 選	豊田北部小	6年	青葉 祭
特 選	青城小	6年	鈴木 悠雅

自主事業

子ども茶道教室

●とき 令和4年7月24日(日)
●会場 豊田福祉センター大会議室



子ども教室では、新たな取り組みとして茶道教室を裏千家などでこの会の皆さんの協力のもと開催しました。

募集人数を大幅に超えたことで、急遽午後の部を加え

ることで対応しました。履物のそろえ方やお辞儀の仕方など礼儀作法の体験では神妙な顔つきで取り組んでいました。

日常生活のなかで、伝統文化を体験する機会が少ない子どもたちにとっては、貴重な体験となったことと思います。



自主事業

子どもいけばな教室

●とき 令和4年8月28日(日)
●会場 豊田福祉センター大会議室

コロナ禍の影響で2年間開催を見送りましたが、感染防止対策を講じて開催しました。募集人数を超えましたが、定数を増やして対応しました。

スペースにゆとりがあったので親子で一緒に生けることとなりました。子どもたちの緊張もほじめて、和気あいあいの教室となりました。

親子で体験することで、馴染みのないいけばなを介して会話がはずんでいました。

その中で希望された2名は、芸術祭のいけばな会場で作品を展示することとなりました。



伝統文化に挑戦

和太鼓竜神ワークショップ

●とき 令和4年9月19日(月)
●会場 磐田市文化会館 かたりあ



小学生対象。

前半8名、後半7名が参加。まず先生から太鼓の打ち方、姿勢、バチの持ち方などの指導を受けた。その後、それぞれの面を真上に向けた太鼓の前に8名が立つ

た。先生の手本の演技後、合図と共に一斉に太鼓を打ち始めた。心がこもっている。リズム感がある。先生が褒めた。「うまい！うまい！拍手！拍手！」。休憩後、太鼓の両面から2名が打つ三宅太鼓に挑戦。みごと！。1時間があったと云う間、子どもたちの満足感をそこに見た。



加盟団体の紹介をします！

抱灘会（ほうたんかい）

〈代表者〉大橋 速宏

〈連絡先〉〇九〇二六二二九〇五九



「抱灘会」

は、昭和31年に手島右卿氏が創設した「独立書人団」の流れをくみ発足しました。初代会長が大草大花氏、二代目会長を大橋良水氏が歴任し、山崎大砲

氏、中井史朗氏らの御指導を仰ぎながら、毎年一回の社中展を開催してきました。そして令和4年には、第55回記念展を磐田市中央図書館で初めて開催することができ、大変嬉しく思います。

濃墨や淡墨、さらに多字数、少字数を問わず、自分の思いや希望等を自由に文字で表現しています。また、大きな紙、大きな筆で創作活動することも特徴の一つです。

磐田水彩画クラブ

〈代表者〉西 史郎

〈連絡先〉〇八〇六九二二二七八二

会員は現在14名、磐田市向笠交流センターで活動しています。

活動は月に1、2回の定例会で静物（花や果物）人物、風景を描いています。講師は天羽凜先生です。画材は主に透明水彩絵の具を使い、にじみやぼかしを生かし、トーンも大事にして透明感のある絵を自由に描いています。また自宅で描いた絵の講評会を毎回1時間程実施し、講師や参加者からの意見交換も定例会の貴重な時間です。

年に1回活動の節目に、会員全員のクラブ展を実施しています。皆さんも一緒にやりませんか。参加希望の方は代表まで。



ブルーベルハーモニー

〈代表者〉鶴見 京子

〈連絡先〉〇五三八三三六六八二八

私たちのグループの名前は、ヨーロッパに春を告げる小さな青い花、「ブルーベル」に由来します。

音楽を愛し、ハンドベルの音色に魅了された9人のメンバーが集まり、

2022年春に結成されました。まだ公での演奏活動はありません。

クラシックからポップス、童謡、唱歌…と幅広いジャンルの曲を練習しています。花言葉の「謙虚な心」を忘れずに、磐田の街に「ブルーベル」という音の花をいっぱい咲かせていきたいと思っています。ベルとベルとのハーモニー、人と人とのハーモニーを大切にしながら。



ミューズ・ウィンド・アンサンブル

〈代表者〉萩原 祐

〈連絡先〉〇九〇九〇二五四四五一

私たち、ミューズ・ウィンド・アンサンブルは、毎週木、土曜日の夜、竜洋なぎの木会館に集まって練習をしています。

1989年に創団し、今年で33年目を迎えました。結成当時の団員も多く、中学生・高校生やサラリーマンから自営業、主婦までさまざまな方が、忙しい合間を縫って音楽を楽しんでいます。夫婦や親子で在籍している方もいます。家族で音楽を楽しんでいる団員もいます。通年を通して、団員を大募集しています!! 地域の皆様に親しまれる吹奏楽団として活動して参ります。



#Eidur(シャブイードラ)

〈代表者〉鶴見 工子

〈連絡先〉朝倉 新吾

〇九〇・三六九六・三七五二

主にフルートと電子ピアノで、ポップ、懐メロ、クラシックを演奏。形態は、合奏やソロ、弾き語り、大体は歌声の様に歌詞をテレビに映し、聴き手と共にした演奏を月3・4回位で活動。磐田近隣の町内や公共施設、幼稚園、慰問等のお誘いを受け、この演奏活動に楽しくやりがいを感じ励んでいます。日常は個人練習、毎週土曜は、合同練習兼リハーサル後、本番。このサイクルでより良い演奏に努めています。



和太鼓 竜神

〈代表者〉玉越 晶雄

〈連絡先〉〇九〇・三五八一・二四六

竜神は2021



年4月より磐田での活動を始めました。プロの和太鼓奏者から20年間に渡り指導を受け、日本の伝統楽器である和太鼓の魅力がたくさんの人たちに伝えたいという思いから結成をしました。小学生中心の団体ですが、和太鼓演奏を通して

て感謝する心・挑戦する心・仲間を大切にする心を育てています。

活動は、福田農村環境改善センターや磐田市民文化会館「かたりあ」にて稽古しています。磐田市の皆様に和の音、和の心を伝えるため、子ども和太鼓体験会や老人福祉施設、障害者支援施設での慰問演奏を行っています。



第5回「磐田を描く・撮る・詠む」コラボ展

◎会期：令和5年1月28日(土)～2月5日(日)

◎会場：豊田福祉センター3階大会議室

磐田の魅力を発信するために、文化協会会員が磐田にちなんだ絵画、写真、俳句・短歌を一堂に発表するコラボ作品展が今年も行われる。市内の景色、様子や心象風景などを題材に制作された絵画や写真から感じ取ったものを俳句、短歌で表現する。展示の最終日には、ギャラリートークとお茶席を設ける予定。ギャラリートークは各分野の作者が自分の作品についてその表現意図や思いなど発表する。それらに対して参加者から感想や意見を求めるものである。



ほっと「書」展

◎会期：令和5年2月9日(木)～12日(日)

◎会場：森町文化会館1Fギャラリー他

静岡県地域文化団体連絡協議会(県文連)西部地区第2ブロック広域文化事業の一環として、磐田市、袋井市、森町の3市町村の各文化協会が、毎年合同作品展を行っている。絵画、写真、書をそれぞれ各年毎にテーマを掲げて発表。会員同士の交流を深め、表現力、鑑賞力を高めることを目指している。本年度は、ほっと「書」展と銘打って作品を展示する。例年多くの来場者があり、好評を得ている。



公益信託石川博敏記念 磐田文化振興基金について

支援の対象となる活動

- ◎音楽、美術、書道、華道、茶道、演劇、舞踊及び郷土芸能等の各分野における発表、展示及び公演活動
- ◎郷土の歴史文化並びに自然環境に関する研究保存活動
- ◎小、中、高等学校及び専門学校における地域の文化振興に貢献する部活動の発表、展示及び公演活動

*ただし、宗教的・政治的宣伝意図を有するもの及び営利を目的とするものは除く

なお、活動支援の受付や審査は、年2回行われておりますので、希望される方や詳細を知りたい方は下記相談窓口まで問い合わせてください。

みずほ信託銀行 浜松支店
TEL 053-454-6411

石川建設株式会社 総務部
基金担当 TEL 0538-36-0021

磐田市文化協会賛助会員

令和4年5月現在 順不同

高尾純男	玉田文江	声楽家 山田美津子	オペラ歌手 谷口晶子	永井和彦	大石正之
鷹野 薫	大竹 繁	村上浩太郎	牧野周一	砂子精一	山崎克巳
高橋敏夫	藤森秋子	小笠原里夏	鈴木光男	磐田カルチャー スイミングセンター 柳生宗男	一般社団法人 磐田青年会議所 加藤大策
磐田演劇鑑賞会 鈴木千名美	(株)いたくら 板倉浩司	(株)大進堂 鈴木隆之	鎌田山 醫王寺 松田智照	がくぶち画材 アオシマ 青島弘明	(有)遠州拓地 三井一雄
(有)サワダ美術社 澤田宏之	(有)松屋 齋藤泰司	グループ ちぐさ 村上千柄子	フリースペース詞華 西尾宏子	ハートセンター磐田 岡崎勝男	キンパラ(株) 金原一平
オフィス・ズー 鈴木正和 鈴木義典	一般社団法人 磐田国際交流協会 川原利彦	鈴木歯科医院 鈴木紳之	(有)鳥居商会 鳥居弘道	小林建設(株) 小林恵子	醍醐荘 平野元由
浜松いわた信用 金庫 理事長 高柳裕久	(株)ケーオー工業 大石英二	藤井マタニティ クリニック 藤井俊朗	喫茶 潤 内藤 隆	カフェ クローバー 鈴木隆光	浜名梱包輸送 シルクロード ミュージアム
一般社団法人 総合文化施設 大簗家 花咲乃庄	浮月さつき会 寺澤 稔	(株)豊和不動産 水谷行宏	特定非営利活動法人 磐田ふれあい基金協会 理事長 大橋 忍	磐田ドローンを 楽しむ会 龍光純男	劇団たんぽぽ 上保節子

新事務局長 就任あいさつ



本年7月より、事務局長として就任いたしました高田正と申します。

昭和48年4月に磐田市に入職し平成27年3月に退職するまで、42年間市職員として主に建設部門に従事してまいりました。文化、芸術とかけ離れた分野でこれまでの人生を送ってまいりましたので文化協会の業務については、何もわからない状況下で事務局長の職を引き受けたわけがあります。

会員の皆様、関係者の皆様を始め、事務局職員の皆様のお力添えを頂きながら、当協会の発展のため努めてまいりたいと思います。

簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

協会HPで紹介しています

“まちなか
アート散歩”

ステンレス製の
七重の塔



平成27年度に整備が完了したJR磐田駅北口広場に設置されている。七重の塔は国分寺において最も重要かつ象徴的な建造物。

3本の支柱は、「過去」「現在」「未来」を示すもので、歴史の連続性を表したもののだろう。

(山崎 克巳)



入会希望の団体は文化協会事務局へご連絡ください。お待ちしております。

文化協会事務局

〒438-0833 磐田市弥藤太島500-1 豊田福祉センター3階

TEL.0538-86-3730 FAX.0538-86-3731

E-mail iwatabunkyo@aqua.plala.or.jp

磐田文化協会ホームページ <http://iwatabunkyo.com>



磐田市文化協会
ご入会のご案内

編集後記

コロナ禍にも関わらず、文化協会会員も参加・協力したいわた大祭り(遠州大名行列・舞車)や国分寺まつりなどが盛大に開催されました。また、ジュニアアート展では小学生の力作が揃い、待望の磐田市民文化会館「かたりあ」が完成しました。さらに、文化協会会員による第5回「磐田を描く・撮る・詠む」コラボ展も開催されます。NHK大河ドラマ「どうする家康」では磐田の文化や歴史が紹介されると思います。

これからも、魅力ある「創」の編集を目指して、読みやすく、見やすくを目標に、編集内容の充実を図るとともに、文字を大きく、写真をできるだけ多く取り入れていきたいです。皆様のご意見をお寄せください。

(佐藤 元則)

磐田市文化協会
広報委員会

委員長 寺田 潔
委員 砂子 精一

顧問 村上 尚子
委員 鈴木けい子

鈴木 儀治

委員 佐藤 元則
委員 藤田 悦子